



甲斐の国の激坂決戦 戦国ヒルクライム

7月23日(日)、甘利山での自転車レース「戦国ヒルクライム in 韮崎・甘利山」が行われました。コース距離 11.7km、標高差 1,138km、平均勾配 9.5%という全国屈指の難コースに、全国から集まったたくさんの猛者たちが、自らの限界に挑戦し、甘利山の激坂を必死に駆け上がっていました。

その姿まさに、武田家の武将!! 戦国の名にふさわしい戦いを見せてくれました。

ちびっこたちの真夏の決戦!!

8月5日(土)、釜無川河川公園で、毎年恒例のあゆのつかみどり大会が行われ、約 140 名が参加しました。素手と網であゆをつかまえようとたくさんのちびっこたちが奮闘しました。700 匹のすばやいあゆの動きに最初はみんな悪戦苦闘していましたが、しだいにコツをつかみたくさんのあゆをつかまえていました。つかまえたあゆは、その場で焼いて食べることもでき、みんな美味しそうに食べていました。



ヤマケンカップ

国民の祝日 8月11日(金) の山の日に、ヤマケンカップ 2017 が行われました。世界的なトレイルランナーである山本健一さんが監修した穂坂自然公園内の 1 周 5 km の「サンライズヒル穂坂・トレイルランニングコース」を走るイベントで、約 200 名の方が参加しました。皆さん苦しそうに走っていましたが、ゴールしたときには達成感あふれる顔をしており、韮崎の自然を満喫していました。



左から永長暁羽さん、志村学樹さん

6月10日(土) にポリテクセンター山梨で行われた第9回山梨県高校生溶接競技大会に韮崎工業高校の生徒3名が出場しました。結果は、1位が志村学樹さんで、韮崎工業高校が6連覇を達成することとなりました。



優勝した志村学樹さんは「本番は緊張して本来の力が発揮できなかったけど、長い間、溶接の練習をしてきたことを信じたことが今回の優勝という結果に結びついたのだと思います。将来はこの溶接の技術を活かして製造業に就き、自分で考える仕事をしていきたいです。」と語ってくれました。

二人は、来年に開催される関東甲信越大会に出場することが決まっています。現在も溶接の技術を高めるために、日々練習を重ねています。関東甲信越大会でも活躍し、優秀な成績を収めることを期待しています。

6連覇

第9回山梨県高校生溶接競技大会
5年連続1・2位を独占!